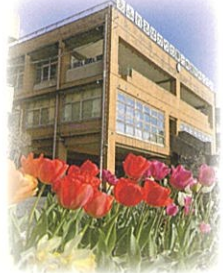


# 奈良の子どもの未来を拓く道徳教育推進事業

～ 研究指定校の取組 ～

道徳教育は、児童生徒がよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標としており、児童生徒一人一人が将来に対する夢や希望、自らの人生や未来を拓いていく力を育む源となるものです。学校、家庭、地域が連携し、自他の生命を尊重し、たくましく生きる子どもを育てている県内の学校の取組について紹介します。



## 大和郡山市立郡山東中学校

学校教育目標 「翔」

～心身共にたくましく成長し、豊かな人間性を携えて  
大きく社会に飛び立つことのできる生徒の育成～



滋谷 美奈 校長

本校では、令和4年度・5年度と2年間にわたり「奈良の子どもの未来を拓く道徳教育推進事業」の研究指定を受け、道徳科を要とした道徳教育の推進に取り組んでいます。

「なぜ道徳？」と問われると、全教職員で取り組むことができるからです。本校の道徳科は、校長をはじめとする全ての教員が自分の得意分野を生かした指導をするなど協力して指導に当たれるよう工夫をしており、教職員が互いに授業を見ることで新たな発見や生徒理解を深めるだけでなく、授業力向上につながっていると考えています。「いろいろ考えているなあ」「そんな考えもあるのか」「生徒の心をもっと知りたいなあ」など、日々の生活でも、生徒の声を聴こうとする姿勢は、生徒に安心感を抱かせ、常に「生徒にとって」と考える情熱のある温かい教職員集団をつくり上げていくことにつながっています。



授業づくりの研修



道徳科の授業参観

また、令和5年度は「挨拶」「時間を大切に」「自分の思いを自分の言葉で表現する」を重点目標に設定し、掲示物や校長通信等で発信しています。道徳科の授業だけでなく、学校の教育活動全体で行う道徳教育について、情報を発信し続けることで、保護者や地域の方とのつながりもでき、職場体験学習等も地域の協力で実施できています。今後も、学校、家庭、地域が繋がって、本校の教育活動を進め、将来、この地域で活躍できる生徒を育てていきたいと考えています。



校長通信



文化祭



「ちよぼん」活動

大和郡山市立郡山東中学校Webページ <http://yamatokoriyama-js.mimoza.jp/khigashi/>



## 役立つWebページ



★文部科学省 道徳教育アーカイブ

①<https://doutoku.mext.go.jp/>

★「奈良県版道徳教育アーカイブ」

②<https://www.pref.nara.jp/60664.htm>

★学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

③ (小学校) [https://doutoku.mext.go.jp/pdf/elementary\\_school\\_02.pdf](https://doutoku.mext.go.jp/pdf/elementary_school_02.pdf)

④ (中学校) [https://doutoku.mext.go.jp/pdf/junior\\_high\\_school\\_02.pdf](https://doutoku.mext.go.jp/pdf/junior_high_school_02.pdf)

①



②



③



④



# こころ はぐくもう

## 実践事例編



学校における道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標としています。各教科等における道徳性を養う指導と、道徳性を養うことを目標とする道徳科の指導のそれぞれの役割を明確にし、道徳教育を計画的、発展的に推進することが大切です。

本リーフレットは、特に児童生徒一人一人の「いじめを許さない心」を養う道徳教育の取組に資するため、道徳科の授業で活用できる教材及び指導例等と、「奈良の子どもの未来を拓く道徳教育推進事業」における道徳教育の取組を掲載しています。各学校における道徳科の授業や道徳教育の充実に向けて、本リーフレットを参考にいただき、児童生徒の心を育むことに役立てていただければ幸いです。

令和6年3月

奈良県道徳教育振興会議

奈良県教育委員会事務局学ぶ力はぐくみ課

いじめを許さない心を養うため、多様な価値観について、時に対立がある場合を含めて誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける態度こそ道徳教育で養うべき基本的資質です。主体的に判断し、よりよく生きていくための資質・能力を養うため、道徳科における問題解決的な学習の指導例について紹介します。

**主題名** 正義の実現  
**指導内容** 中学校 C-11  
 公正、公平、社会正義  
**教材名** ヨシト (奈良県教育委員会)  
**指導学年** 第1学年

**ねらい**  
 アツシの幼馴染であるヨシトに対する周囲のクラスメイトの見方や、ヨシトやクラスメイトに対するアツシの言動や思いについて考えることを通して、他者に対する正しい理解や寛容さなど、他者への見方や考え方を広げ深める機会とし、正義を重んじ、誰に対しても公正、公平にし、差別や偏見をなくしていこうとする意欲を高める。

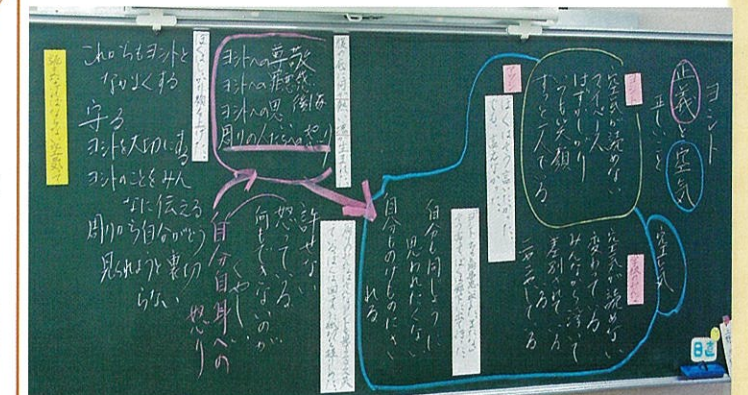
**教材について**  
 本教材は、主人公アツシと友達ヨシトを取り巻く集団の様子を描いています。教材中で、ヨシトは「空気が読めない」と言われています。この表現は、軽い気持ちで使われることが多いと思われそうですが、場合によっては相手への蔑みや偏見につながることもある表現であると言えます。主人公の気持ちの変化を考えることを通して、正義を実現しようとする強い意志や態度を育むとともに、他者に対する正しい理解や他者に共感しようとする心情など、他者への見方や考え方を広げ深めるきっかけとすることをねらいとした教材です。

|    | 学習活動(○主な発問、予想される生徒の意識)   | 指導上の留意点   |
|----|--|---|
| 導入 | 1. 「正義」と「空気」について考えることを知る。<br>○「空気を読む」という言葉を聞いたことがあるか。  | ・自由に話し合わせ、自分たちの問題として考えるきっかけとする。   |
|    | <b>「空気を読む」とは、どんなことだろう。</b>   |   |
| 展開 | 2. 教材文「ヨシト」を読んで話し合う。<br>○言いたくても言えないアツシ、ヨシトに嘘をついて廊下に出て行ったアツシは、どんな思いからそうしたのだろう。<br>・自分も同じように思われたくない。<br>・自分ものけ者にされる。<br>・ヨシトと仲がよいと思われたくない。<br>○回ってきた紙切れを握りしめたアツシは、どんな思いだったのだろう。<br>・許せない。<br>・何もできないのが悔しい。<br>・苛立ち。<br>○腹の底に生まれた熱い塊とは何だろう。<br>・まわりへの怒り。<br>・ヨシトに対する申し訳なさ。<br>・ヨシトへの尊敬。<br>・後悔や悔しさ。<br>・覚悟。 | ・ヨシトに対するクラスメイトの見方がおかしいと思いつつも、言えない主人公の姿に着目させ、ヨシトと関わっている自分に対するクラスメイトの目が気になる主人公の思いについて考えさせる。<br>・ヨシトと一緒にいる自分へのクラスメイトの見方が気になっている主人公の思いを押さえ、周囲のクラスメイトと同じ立場に立ってヨシトを見てしまっている自分自身へのたまらなさにも気付かせる。<br>・これまで一緒にいて知っていたヨシトのよさや家族への思いなどにも改めて気づき直した主人公の思いに共感させるようにし、自分自身の弱さと立ち向かい、ヨシトに対するクラスメイトの偏見を正し、正義を貫いていこうとする主人公の強い意志を捉えさせる。 |
| 展開 | ◎しっかりと顔を上げたアツシが考えていたことはどんなことだろう。<br>・ヨシトのことをこれからは裏切らない。<br>・気持ちは人に流されてはいけない。<br>・自分が情けない。  | ・ワークシートに書き込むことを通してじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにグループでワークシートを交換し合ったり、全体で意見を交流し合ったりする。   |
|    | 3. 自分自身を振り返り、これからの自分について考える。<br>○読まなければならなかったり、読めない者が排除されたりする「空気」とはどんなものだろう。<br>・「違うから」といって差別するような空気。<br>・自分がいなくなってしまうような空気。<br>・一言一句に圧があって重々しい空気。<br>・自分の意見をはっきり言えない集団が生み出す空気。  | ・自分たちの学校生活などを振り返り、見直すことを通して、自分たちの問題として考えさせ、正義を実現しようとする意欲や態度とともに、公正、公平なものの見方や考え方を大切にしようとする思いを育むようにする。<br>*「正義が実現される空気とはどんな空気だろう。」と問うことも考えられる。  |
| 終末 | 4. 「心のノート」を活用し、授業を振り返る。  | ・「この学級に正義はあるか」(「心のノート中学校」の100・101ページ 文部科学省)を紹介する。   |



**導入で...**  
 生徒が、教材の中にある問題や、複数の道徳的価値の中からどの価値を優先するのかの判断を迫られることになる場面について問題意識をもたせるため、「『空気を読む』とはどんなことだろう。」を学習課題として提示し、本時の主題について考えるきっかけとしています。

**展開で...**  
 主人公の置かれている状況について共感させながら学習を進め、ワークシートを用いて自分の考えを整理するとともに、他者との交流により、課題について多面的・多角的に考えることができるようにしています。さらに、「読まなければならなかったり、読めない者が排除されたりする『空気』とはどんなものだろう。」と問い、主題について考えることで、生徒が人間としての生き方について考えを深める学習展開としています。



**終末で...**  
 文部科学省発行「心のノート中学校」を活用し、生徒が自分たちの学校生活などを振り返って考え、差別や偏見をなくそうと努力する意欲を高めることにつなげています。